



東日本大震災から14年、 職場から防災・減災を考える。



東日本大震災から14年を迎えました。大地震、津波、原発事故と歴史上でも類を見ない大規模な複合災害であり、私たちのジェイアールバス関東でも中枢である東京支店が被災するなど大きな影響を及ぼしました。

近年は自然が猛威を奮う、異常気象や自然災害が多く発生しています。昨夏には「南海トラフ地震臨時情報」が発表されたりと、大規模地震や首都直下型地震の発生も危ぶまれています。京阪神夜行バス「ドリーム号」、東名昼行便「東名ハイウェイバス」、そして東京発着を基幹とする当社では大規模地震発生時の影響は計り知れません。

東日本大震災の時はどう乗り切ったのか？ 災害発生時の遠隔地点呼の対応は確立されているのか？ 路線上に避難場所は存在するのか？ 職場での議論を深め、過去の教訓を生かし、お客様と自身の安全を最優先に守り抜こう！

私たち労働組合が防災・減災を職場で提起していこう！